

しのばず自然観察会より 2022-6 2022.06.01

2022年6月の活動 不忍池定点観察

集 合：2022年6月12日（日）午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物（必要な方は昼食）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚 寒暖対策も！



不忍池がある台東区では、新型コロナ新規感染者数は他区に比べ少なく推移しています。しかし検査数が減少したものの、検査数に対する感染率は20%台を上下し、週当たりの新規感染者数は200人台と、昨年8月のオリンピック時の直前および直後並みです。それ規制解除だ、コロナ前に戻そうという雰囲気がつくられていますが、気を緩めることなく、感染防止に努めてください。

7月の活動予定 不忍池定点観察

2022年7月10日（日）午前10時 不忍池 蓮池南西端集合 の予定です。

2022年5月の活動 不忍池定点観察 より

前夜からの雨が集合時にはあがり、青空が広がって暑さが戻りました。5月22日（日）、定点観察会へは会員5名が参加しました。

5月の観察記録 動物：カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、コサギ、ゴイサギ、スズメ、ハシブトガラス、ドバト、シジュウカラ、ムクドリ、ミシシッピーアカミミガメ、スッポン、コイ、ウチワヤンマ。シオカラトンボ。

開花（または実）：マメゲンバイナツナ、ムラサキサギゴケ、ハルジオン、セイヨウタンポポ（4倍体雑種・3倍体雑種）、チガヤ、ムラサキカタバミ、カタバミ、オニタビラコ、ユウゲショウ、キショウブ、キツネアザミ、ナガミヒナゲシ、ウラジロチチコグサ。

渡り鳥のカモやカモメ類が去って、不忍池は動物の繁殖期後半を迎えていました。カワウの巣材運びがなくなり、コロニーのひとつかふたつの巣には巣立ち前の若鳥が見られました。ただ、最盛期にははるかに及びません。また、カイツブリの成鳥と若

鳥2羽が見られました。若鳥のうちの1羽は成鳥から少し離れたところにおいて、若鳥同士で追いかけてっこをすることもありました。

カメが岸によじ登るのを先日見たので、筏の丸太に登るスッポンが目にとまりました。何度かずり落ちながら、両前足を踏ん張って上がりました。



巢のなかのカワウ（左：成鳥、右：若鳥）



カイツブリの若鳥



丸太にあがるスッポン キツネアザミ 穴掘り行動をするスッポン（左が頭）

昨年7月にはボート池畔でクサガメの産卵が見られましたが、今年5月の観察会では蓮池畔でスッポンの産卵行動に出会いました。クサガメと同様に、後足で土を掘っていきます。ところがうまく掘れないらしく、体一つ分位横にずれて、新しい穴を掘り始めました。体が大きいせい、片足で一かき二かきして足を替えるときに、体全体を横にずらしていました。このあと時間がかかるだろうと思い、一同その場を離れましたが、2時間後に見に行くと、スッポンの姿はありませんでした。誰かに捕まえられたか、自分自身で池に戻ったのか、クサガメの場合のような穴を埋め戻して枯草をかけておくような卵への配慮は見られませんでした。掘りかけて放棄した穴が2か所わかるような状態でした。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2021年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。